

Bubblewrap

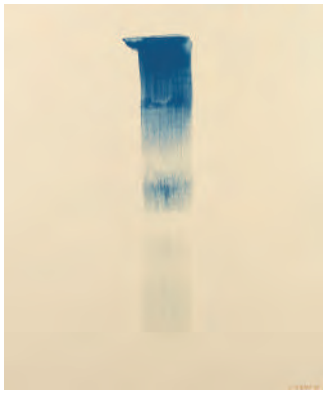


「もの派」があって、その後のアートムーブメントはいきなり「スーパーフラット」になっちゃうのだが、その間、つまりバブルの頃って、まだネーミングされてなくて、其処を「バブルラップ」って呼称するといろいろしっくりくると思います。特に陶芸の世界も合体するとわかりやすいので、その辺を村上隆のコレクションを展示したりして考察します。

バブルラップ

2018.12.15(土) → 2019.3.3(日)
CAMK 熊本市現代美術館

開館時間：10:00-20:00(展覧会入場は19:30まで)
休館日：火曜日、年末年始[12月29日(土)-1月3日(木)]
主催：熊本市現代美術館[熊本市・公益財団法人熊本市美術文化振興財団]、
KAB熊本朝日放送、熊本日日新聞社
協力：熊本バルコ、有限会社カイカイキキ
後援：熊本県、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、
熊本国際観光コンベンション協会、J:COM、NHK熊本放送局、エフエム熊本、FM791



1. 李禹煥(線より)1976 ©Lee Ufan/2. 大竹伸朗(網膜/境界線5) 1990(2015年プリント) ©Shinro Ohtake, Courtesy of Take Ninagawa, Tokyo, Photo by Kei Okano/3. 荒木経惟(センチメンタルな旅)1971(2015年プリント) ©Nobuyoshi Araki, Courtesy of Taka Ishii Gallery, Tokyo/4. groovisions(チャッピー33)2001 ©GROOVISIONS, Photo by Joshua White/5. 大谷工作室(金色のご)2016 ©2016 Otani Workshop/Kaikai Kiki Co.,Ltd. All Rights Reserved. Photo by IKKI OGATA いずれも出品予定作品

1	3	5
2	4	

世界的に活躍する現代美術家村上隆が、自身のコレクションをもとに展覧会を企画します。本展は、バブル経済期を中心とするアートムーブメントを軸に、1990年以降の陶芸芸術を合わせて俯瞰することで、日本の戦後の現代美術を捉えなおそうという非常に意欲的な試みです。

本展について、村上はこのように語ります。

「これは、戦後の現代美術を新しい視点で解釈しようという野心的な展覧会です。どう野心的か?という、『もの派』や『スーパーフラット』といった命名済みのムーブメントとまだ命名されていない表現達をお団子のように串刺しにすることで、大きな物語の形をあぶり出そうという企画であり、また、1990年以降の『失われた20年』の『デフレと低成長経済』の日本国内に起きた陶芸芸術の部分的な発酵熟成の原因究明を、バブル経済真盛り頃の日本のアートと相対化させて、日本人の美意識の核心部を浮き彫りにしよう、という部分が斬新と言えるからです。その全体像を包括する言葉として『バブルラップ』、つまりビニール製の梱包材の固有名詞を使うことで、まさに丁寧に梱包して、別の場所へ整理し直そう、という企画なのです。」

まさにそれ自身がバブル(泡)のように次々と湧き出していた、バブル経済期を中心とする時代の数々のムーブメントたち。それらに対し村上は、「バブルラップ」という新たなアートのキーワードを創出しました。そして現代陶芸との関係も合わせて考察しようというところが、村上ならではのユニークな視点です。かつての「スーパーフラット」がアート界に衝撃的な一石として投げられたように、「バブルラップ」もまた、大きな波紋を巻き起こすに違いありません。本展は、コレクター、キュレーターとしての村上の仕事と、常に「芸術とは何か?」という疑問に立ち向かう村上の最新のアイデアに触れられる機会となるでしょう。

*バブルラップ(Bubblewrap)とは本来、割れ物などを包むための、ビニール製の気泡緩衝材を指します。

観覧料

一般	¥1000 (¥800)
シニア(65歳以上)	¥800 (¥600)
学生(高校生以上)	¥500 (¥400)
中学生以下	無料

* ()の料金は前売および団体料金。各種障害者手帳(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳等。付き添い1名にも適用)、電車・バス1日乗車券、JAF会員証、緑のじゅうたんサポーター証を提示の方に適用。*美術館友の会証を提示の場合は、1展覧会につき1回無料。

関連イベント

●オープニング・トーク

本展を企画した村上隆が、企画の意図や新たなキーワード「バブルラップ」についてお話しします。

[講師] 村上隆(現代美術家、本展企画者)
[日時] 12月15日(土) 14:00~16:00
[会場] ホームギャラリー

●日比野克彦 公開制作

「DEPARTMENT STREET PAINTING」

本展出品作家であり、80年代に時代の寵児となった日比野克彦。熊本の商店街にてライブペイントを行います。

[日時] 12月16日(日) 11:00~14:00
[会場] バルコ下通側店頭

●プレママ&ファミリー・ツアー

0-6歳の子どもと大人、または妊娠中の方と家族や友人のみなさんと一緒に展覧会を楽しむツアーです。

[日時] 2019年1月19日(土) 10:30~11:10
[会場] 展覧会会場内 *要展覧会チケット
[定員] 7組(事前申込制)

●講演会

「昭和の美術から平成のアートへ(仮)」

[講師] 榎木野衣(美術評論家)
[日時] 2019年1月26日(土) 15:00~16:30
[会場] ホームギャラリー

●ワークショップ

「大谷工作室とみんなの工作室@熊本」

自分の顔、身近な人の顔、あこがれの人の顔…。「誰かの顔」を粘土で作ってみよう!

[講師] 大谷工作室(本展出品作家)
[日時] 2019年1月13日(日) 13:00~15:00
[会場] キッズファクトリー
[定員] 20名(事前申込制)
[対象] 3歳~大人
*未就学児と小学校低学年のお子様には保護者の付き添いが必要です。

[参加費] 500円

*作品は乾燥・焼成しますので、約1か月後のお渡しとなります。

●ギャラリー・トーク

当館学芸員と一緒に展覧会をめぐるツアー。

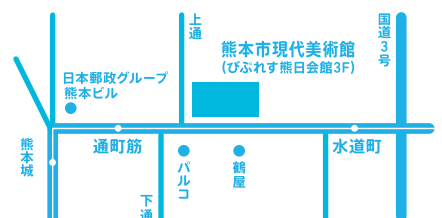
[日時] 2019年1月27日、2月3日、2月17日
いずれも日曜日、15:00~15:30
[会場] 展覧会会場内 *要展覧会チケット

*各イベントの詳細は、当館ウェブサイトをご覧ください。
お問い合わせ・お申し込み [Tel.] 096-278-7500

交通アクセス

当館は交通アクセスの良い熊本市街地中心部にありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

- JR熊本駅から市電「健軍町」行(約15分)
- JR新水前寺駅から市電「熊本駅」「上熊本駅」行(約10分)
いずれも「通町筋」とおりちようすじ」電停下車(徒歩1分)



熊本市現代美術館

〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3 びふれす熊日会館3階
TEL: 096-278-7500 FAX: 096-359-7892 www.camk.jp